

デイサービスセンターで高齢者福祉

美馬市では、「人生 100 年時代」を美しく、健康で暮らすことのできるまちづくりに取り組んでいます。この取組の一環で、「美」を通じた高齢者外出等促進事業として、令和 5 年 4 月から高齢者福祉ネイルケア実証事業を実施しています。ネイルケアを通じて「癒し」や「希望」を届けることで、心身共に元気になっていただき、外出機会を増やしていただくという取組です。



福祉ネイリスト秋山さんが健祥会デイサービスセンターうだつを訪問

思いやりのこころを育てよう「人権の花運動」 ～6/22 三島小学校・6/29 穴吹小学校～

この運動は、市内の小学校へ花の苗とプランターを贈呈し、それを子どもたちが協力して育てることによって、いのちの大切さや相手への思いやりという人権尊重思想をはぐくむことを目的としています。

人権擁護委員からサルビアの苗を受け取った児童は、大きく育つようにプランターに植え替えました。児童が笑顔や思いやりのこころをもって育てることにより、きっと美しい花を咲かせることでしょう。

人権の花は、児童らが育てたあと、市内の社会福祉施設などに贈られることになっています。



写真 ㊤人権教室 ㊦植え替えの様子



7/1 皆さんの問題解決のお手伝いをします 人権擁護委員が決定

市が人権擁護委員に推薦していた大野智子さん（穴吹・再任）が、法務大臣から委嘱されました。人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をしている民間ボランティアで、積極的な人権擁護活動を行っています。

☎ 暮らし・人権課 ☎ 52-8009

じんけん

ネイルケア実証事業を実施!

市内の福祉ネイリストの秋山 由香さん（ネイルサロン Ange）と正木 優子さん（Regalia Nail）がそれぞれ健祥会デイサービスセンターうだつと美馬市穴吹デイサービスセンターライフケアたがたに訪問し、ネイルケアを行いました。ネイルケアを受けられた方からは、綺麗になった指先を見て、「こんなの初めて!」「うれしい!」といった喜びのお声をたくさんいただきました。また、買い物や旅行に行きたいといった前向きなお言葉もいただくことができました。



福祉ネイリスト正木さんが美馬市穴吹デイサービスセンターライフケアたがたを訪問

人生 100 年時代を美しく健康に生きるためにジェロントロジーを学ぼう ジェロントロジー講演会「高齢期のお金」

「100 歳人生」を過ごすうえで重要なテーマである「高齢期のお金」について学ぶ講演会を開催します。人生 100 年時代「お金」について知っておくべきこととして、「将来のライフプランを考える」「介護や認知症に備えたい」「相続について知っておきたい」といった内容について、ファイナンシャルプランナーの平澤氏に講演いただきます。講演の中には、ご自身について考える個人ワークもございます。ぜひご参加ください。

- ▶ 日時 10月1日（日） 午前 10 時～正午
- ▶ 場所 地域共生交流施設 小星ベース
- ▶ 定員 市内在住または在勤の方 30 名
- ▶ 講師 ファイナンシャルプランナー 平澤 朋樹 氏
- ▶ 申込期限 9月7日（木）
- ▶ 申込方法 氏名、年齢、住所、電話番号を FAX、メール、または電話でお知らせください。※申込多数の場合は抽選となります。



☎ 美と健康のまち推進課

☎ 52-5730 FAX 52-5731 ✉ biken@mima.i-tokushima.jp

美馬市議会議員補欠選挙の結果について

7月9日、美馬市議会議員補欠選挙の投票が行われました。選挙には無所属の8人が立候補し、投票の結果、次の5人が当選しました。また、11日に市役所で当選証書を交付しました。当選した5人の任期は3年後の令和8年4月22日までです。

【当選された皆さん】※順不同、敬称略

蔭山 勝利、細川 健一、南 渚、森野 信一、中川 重文



6/29 図書館来館者50万人達成



★累計来館者数 50万人達成!!

6月29日に図書館来館者50万人を達成しました。50万人目の来館者は、吉田朱里さん、圭人くん親子です。

7月13日に記念として、市長・教育長・ミライズ館長から、花束、美馬の和傘ランプシェード、図書券が送られました。

6/28 美馬市優良工事表彰式



優良工事表彰は、市が発注した建設工事に対し、特に優秀な工事施工を行った者を表彰するものです。今回は基準をクリアした2業者の皆さんが受賞されました。

受賞された施工業者は次のとおりです。

- ・有限会社高木建設
- ・旭建設株式会社

7/22 美馬市民デー開催

サッカーJ2徳島ヴォルティス対ヴァンフォーレ甲府戦



©TOKUSHIMA VORTIS

当日は、美馬市特設ブースが設置され、藍染め缶バッチや美馬市版ヴォルタくんのハンカチが当たるカプセルトイコーナー、きなこの無料配布、美馬市の特産品の販売などを行い、多くのサポーターに行列をつくっていただき、美馬市をPRすることができました。また、ハーフタイムには竜美による阿波踊りが披露されました。

試合は残念ながら1-2で敗れました。チームはJ3自動降格圏内に近い位置にあり、非常に厳しいチーム状況ですが、これからも市民の皆様の徳島ヴォルティスへの熱い応援をよろしくお願いします。

7/2 きれいな町はみんなで守る！ 穴吹川一斉清掃を実施



今年も穴吹川全域（穴吹町管内）で一斉清掃を行いました。当日は地域住民の方々を中心に、約200の方にご参加いただきました。各集合場所でごみ袋を受け取った後、投棄されていた空き缶やペットボトルなどを回収したところ、約450kgのごみを集めることができました。休日の早朝から多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。

地域おこし通信

6月27日、江原南小学校4年生の総合学習として、世界農業遺産（GIAHS（ジアス）※1）に認定されている「にし阿波の傾斜地農耕システム」と「生き物に優しい農業と生物多様性」について、農林課の担当職員と出前授業をしてきました。

子どもたちの「こんにちは～!」という元気な挨拶から始まった授業は、担当職員による「にし阿波の傾斜地農耕システム」のお話からスタート。にし阿波の世界農業遺産は日本国内で13の地域※2しか認定されていないうちの1つです。農法や生産物、コエグロ、生き物、文化等について、クイズや動画を使って説明しましたが、子どもたちは楽しそうに学んでいました。そして、いよいよ私の説明パートへ。私は、にし阿波の世界農業遺産が大切にされる「生物多様性」の観点から、「生き物をはぐくむ農法」についてのお話をさせていただきました。



冒頭に、「生き物が好きなひと～?」、「農業手伝ったことあるひと～?」と、聞くと「好き～!」、「やったことある～!」という、教室いっぱい広がる元気な返事が返ってきました!新潟県佐渡島の生物の多様性と環境保全から絶滅したトキの野生復帰を牽引した「生き物をはぐくむ農法」の具体的な内容や、にし阿波の世界農業遺産との違い、どうして自然や生き物が大切なのか、生態系サービスとは何か等をお話しました。「少し難しいかな?飽きちゃうかな?」と思い、クイズを織り交ぜつつ説明しましたが、これが思いのほか大盛り上がり!子どもたちの笑顔や笑い声、積極的な発言、一生懸命にメモをする姿に私自身も終始楽しい時間を過ごさせてもらいました。

生物多様性に富んだ本市の豊かな自然、生き物、文化・伝統、そして基幹産業である農業に対して、この出前授業を機に少しでも興味関心を持ってくれたらとても嬉しいです。 隊員 山田 洋一

※1 : GIAHS = Globally Important Agricultural Heritage Systems の頭文字

※2 : 令和5年2月現在

クイズ⑥ - 問題

生物多様性を守るのに、やっではないかな?はな～んだ??

①飼っていた外国の生き物を「自然の中に戻してあげたい」と思い、自然豊かな場所に逃がしてあげた

②とても綺麗な外国の植物があったので、「みんなにも見て欲しい」と思い、色々な場所に植えた

③釣り人が、「色々な場所で釣りたい」、「みんなにも楽しんでもほしい」と思い、ブラックバスを湖やため池などに放流した